

意見書（案）第23号

酷暑から市民の命を守ることを求める意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和7年6月19日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	紫野あすか
賛成者	〃	大城美幸
〃	〃	前田まい
〃	〃	栗原けんじ

酷暑から市民の命を守ることを求める意見書

地球温暖化の影響により、酷暑が市民の命と暮らしを脅かしている。東京都によると、昨年夏の都内の熱中症による死亡者数（速報値）は341人に上り、東京都全体の人数が集計、公表された2014年以降、最も多くなっている。屋内で亡くなられた方の大半は、エアコンを設置していなかった、または故障も含めて、エアコンが使われていなかったことが判明している。夏の暑さが年々深刻になる中、エアコンの使用は命を守るために必要不可欠である。しかし、電気代や物価の高騰が暮らしを直撃しており、暑くてもエアコンの使用を我慢する人が増えている。また、エアコン設置にはそれなりの費用がかかるため、購入できないという実態がある。

気候正義（気候変動の影響や、負担、利益を公平公正に共有し、弱者の権利を保護するという人権的な視点を持つ）の観点からも、また物価高騰により厳しい生活を送っている市民を取り残さないためにも、熱中症から命を守るための支援が必要である。

よって、本市議会は、東京都に対し、エアコンを購入することができない低所得者など、支援が必要な方々を対象に、電気代の心配なくエアコンを使用できるようにするための支援と、エアコンの購入、設置に対する助成を行うことを求める。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和7年6月19日

三鷹市議会議長 伊藤俊明